

(様式 7)

公共事業継続箇所評価調書

評価確定日(令和2年 9月30日)

事業コード	R2-建-継-04		区 分	● 国庫補助 ○ 県単独
事業名	地方道路交付金事業(改築)		部局課室名	建設部 道路課
事業種別	一次改築(バイパス)		班 名	道路建設班 (tel) 018-860-2492
路線名等	一般国道285号		担当課長名	道路課長 浅井 学
箇所名	五城目町富津内		担当者名	副主幹(兼)班長 渡部 寿
総合計画との関連	政策コード	03	政策名	未来の交流を創り、支える観光・交通戦略
	施策コード	05	施策名	県土の骨格を形成する道路ネットワークの整備促進
	指標コード	03	施策目標(指標)名	地域間ネットワークの構築

1. 事業の概要

事業期間	H28 ~ R10(13年)	総事業費	34.0 億円	国庫補助率	59.0	
事業規模	○延長L=3,300m、幅員W=6.5(9.5)m(1.5+3.25+3.25+1.5)m 一部歩道あり					
事業の立案に至る背景	○一般国道285号は、秋田市を起点に北秋田市を経て鹿角市に至る幹線道路であり、秋田市と県北部を最短距離で結ぶルートとして、産業・経済の地域間交流を促進するほか、十和田八幡平及び阿仁森吉山観光を支援する観光道路の機能を有する重要な路線である。 当該区間の車道の幅員は狭く急カーブも連続していることから、事故多発等、車両の安全な通行に支障をきたしている。第二次緊急輸送道路にも指定されている本路線の機能を保持するため、早急に整備を行う必要がある。					
事業目的	○第二次緊急輸送路としての機能確保 ○バイパス整備による安全で円滑な交通の確保 ・線形改良および幅員の確保による車両等通行の安全性の向上 ・通過交通の排除による沿線住民である歩行者自転車等の安全性の向上					
事業費内訳 事業内容 (単位:千円)		計 画 時	評 価 時	増 減	理 由 等	
	事業費	3,400,000	3,400,000	0		
	経費内訳	工事費	2,740,000	2,740,000	0	
		用補費	190,000	190,000	0	
		その他	470,000	470,000	0	
	財源内訳	国庫補助	2,380,000	2,006,000	▲374,000	
		県債	918,600	1,254,600	336,000	
その他						
一般財源	102,000	139,400	37,400			
事業内容	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工	調査・設計 改良工 舗装工 橋梁工			国庫補助率の変更による	
事業の進捗状況	○令和元年度末で事業進捗率10%(用地進捗率は3%)					
事業推進上の課題	○特になし					
関連する計画等	○五城目町総合発展計画					
情勢の変化及び長期継続の理由	○特になし					
事業効果把握の手法及び効果	指標名	県管理国道改良率				
	指標式	整備率(整備済み延長/路線実延長)				
	指標の種類	○ 成果指標	● 業績指標	低減指標の有無	○ 有 ● 無	
	目標値 a	94.0 %		データ等の出典	道路課調べ	
	実績値 b	94.1 %		把握の時期	令和2年4月	
達成率 b/a	100.1 %					

前回評価結果等	<input checked="" type="radio"/> 選定または継続 <input type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 保留または中止
	①指摘事項
	特になし
	②指摘事項への対応
	特になし

2. 所管課の自己評価

観 点	評価の内容 (特記事項)	評 価 点
必 要 性	○曲線半径が100m未満の急カーブが5箇所存在し、視距不足により車両の通行や道路を横断する沿道住民の安全性に支障を来している。また、大型車の交通量が多く、急カーブが原因でセンターラインからはみ出す車も多い。 ○当該工区では事故が発生しており、急カーブ付近では車両の相互事故による重傷者、死亡者も発生しているため、早期に整備する必要がある。	8点
緊 急 性	○五城目町総合計画の中で道路網を交流促進の重要基盤とし、その中でも国道285号を主軸と位置づけ、未整備区間の早期整備を促進することとしている。 ○当該工区起点側及び終点側は改良済みとなっており、一連の効果を発揮するため早期に事業化する必要がある。 ○現況交通量に対し規定車道幅員が不足しており、車両の安全な通行に支障を来している	15点
有 効 性	○当路線は第二次緊急輸送道路に指定されているが、当該区間は線形が悪くまた迂回路も無い。道路整備を行い線形解消及び代替路線の確保により走行性・信頼性を向上させる。 ○救急医療施設へのアクセスが改善され、救命救急体制の強化が期待される。	28点
効 率 性	○事業の費用便益比は1.17であり、効率性は高い。 ・総便益の現在価値 34.6億円 ・総費用の現在価値 29.5億円 ○発生土を盛土材に使用しコスト縮減を図っている。	20点
熟 度	○令和元年度末の事業進捗率は10%である。	7点
判 定	ランク (<input type="radio"/> I <input checked="" type="radio"/> II <input type="radio"/> III)	78点
	緊急性、効率性が高く、事業は引き続き実施すべきである。	
総 合 評 価	<input checked="" type="radio"/> 継続 <input type="radio"/> 改善して継続 <input type="radio"/> 見直し <input type="radio"/> 中止	
	事業継続は妥当である。	

3. 評価結果の当該事業への反映状況等 (対応方針)

コスト縮減に努めながら、事業を継続する。

4. 公共事業評価専門委員会意見

県の対応方針を可とする。

公共事業箇所評価基準

評価種別 継続箇所評価
適用基準名 道路改築事業 (地域間交流・連携促進)

事業コード (R2-建-継-04)
箇所名 (五城目町富津内)

1. 評価内訳

観点	評価項目	細別	評価基準	配点	評価点	摘要
必要性	道路の現状の問題	道路構造上の欠陥箇所数 ・車道幅員<5.5m ・最小半径<100m ・最急勾配>4% ・冬期堆雪巾なし	3箇所以上	8	5	・最小半径50m ・冬期堆雪巾なし 2箇所
			2箇所	5		
			1箇所	3		
			該当箇所なし	0		
			計	15		
		道路環境上の欠陥該当項目 ・現道の混雑度 ≥ 1.0 又は走行速度 ≤ 30 km/h ・現道の事故率 ≥ 50 件又は重大交通事故が発生 ・通学路指定で歩道なし又はバス路線で歩道なし	3項目該当	7	3	・現道の事故率100件及び 重大事故が発生 1項目
			2項目該当	5		
			1項目該当	3		
			該当項目なし	0		
			計	15		
計	15	8				
緊急性	道路をとりまく環境等	関連事業の有無 ・県の主要プロジェクト ・地域振興プロジェクト ・ほ場整備等の他事業	あり	5	5	五城目町総合発展計画
			なし	0		
		緊急度の高い課題の有無 老朽橋、災害危険箇所、迂回路の確保 冬期通行不能区間等	あり	5	5	現況交通量に対し、規定の 車道幅員が不足
			なし	0		
		同一路線の整備状況	整備済み	5	5	整備済み
			未整備	0		
		計	15	15		
		有効性	道路の位置づけ	緊急輸送道路	第1次輸送道路	8
第2次輸送道路	6					
第3次輸送道路	4					
指定なし	0					
救急医療施設へのアクセス	アクセス性向上に大きく貢献			7	7	秋田厚生医療センター
	アクセス性向上に貢献			5		
	アクセス性向上に一定の効果			3		
観光・産業の活性化	活性化に大きく貢献			7	7	道の駅五城目
	活性化に貢献			5		
社会変化による事業の必要性	活性化に一定の効果			3	8	重要物流道路代替路・補完 路
	必要性が高い			8		
	必要性に変化はない			6		
	必要性が低い			4		
計	30			28		
効率性	事業の投資効果等			費用便益比 (B/C)	1.0以上	5
		1.0未満	0			
		計画交通量	4,000台/日以上	5	5	7,700台/日
			1,000台/日以上~4,000台/日未満	3		
		コスト縮減	1,000台/日未満	0	5	発生土を盛土材に使用
			あり	5		
		事業中止による影響	なし	0	5	大規模バイパス
			既投資額の損失大	5		
			既投資額の部分的損失	4		
		計	3	20		
熟度	事業の進捗状況	事業の進捗 (事業費)	8割以上完了	10	5	10%
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			計	20		
		用地買収の進捗 (面積)	8割以上完了	10	2	3%
			5割以上完了	8		
			1割以上完了	5		
			1割未満	2		
			未着手	0		
計	20	7				
合計			100	78		

2. 判定

ランク	判定内容	配点	判定	摘要
I	優先度がかなり高い	80点以上	II	
II	優先度が高い	60点以上~80点未満		
III	優先度が低い	60点未満		